

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・59〉	いわき市立錦東	小学校
＜実施日＞ 平成28年 5月 31日(火)			
＜実践教科等＞ ※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。 1 理科 ② 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他()			
＜実践内容＞ 「放射線とは何かを知ろう」 (1) 放射線のイメージについて話し合う ○「放射線と聞いて思い浮かぶことやイメージは何ですか？」 ・ 原発 ・ レントゲン ・ 体に悪い ・ 怖い など (2) 身の周りの放射線量について話し合う ○「身の回りの放射線量が今いくつか知っていますか？」 ・ あまり高くない。 ・ いくつかは知らない。 ・ 高いか低いか分からない。 (3) DVD学習 「放射線教育 学習教材」(県教育委員会)を活用しての授業 ○ 身近にある放射線について ○ 放射線の種類 ○ 放射線の特徴 ○ 生活のなかで使われていること ○ どのように生活していけばよいか (4) 授業を受けての感想 ・ 放射線と聞いて悪いイメージだったが、身の回りに身近に存在しているものだと思った。 ・ 生活の中でも便利に使われていることを知った。			
＜成果＞ ○ 放射線とは、自然界の中にも存在しているものであり、決して怖い存在ではないこと、生活の中で使われていることを知るとともに、これからどのようにかわっていけばよいかについて知ることができた。 ○ 不安を少しでも解消することができた。			
＜課題＞ ○ 児童の質問に対して、わかりやすく答えることができなかった。専門的な知識や自分の教材研究不足が反省点としてあげられる。			
資料作成担当者職(教諭)氏名(菅野 眞喜子)		学校電話番号(63-9828)	

【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。
(送信先: kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)